

## 2023年度を振り返って、改めて考えてみたいこと ～能登地震、ニューヨーク・タイムズ、庁舎建替など～

### 令和6年 第1回山口市議会定例会 質問と答弁

#### 橋梁の現状と点検状況について

##### ▶質問

能登半島地震では、道路や橋梁に甚大な被害が生じ、住民の日常生活、支援物資の支給や被災箇所の円滑な復旧等に支障が出ている。令和5年度の山口市における橋梁の点検状況と橋梁の状態について伺う。

##### ▶答弁

橋梁の点検状況については、平成26年度から5年に1度の定期点検が義務化され、毎年継続的に定期点検を実施しており、令和5年度は、2巡目の点検の最終年であった。この点検結果を受けて、「Ⅱ判定(予防保全段階)」、「Ⅲ判定(早期措置段階)」の橋梁について、順次修繕を進めた結果、2巡目の点検の途中段階だが、健全な橋梁の割合が約6ポイント増加した。今後も、大規模な修繕が必要となる「Ⅲ判定」となる前の段階において、順次、継続的に補修を実施する。現在、大規模な修繕を実施している「Ⅲ判定」の橋梁についても、順次、計画的に修繕を進める予定である。

##### ▶質問

大規模な修繕をしている橋梁の進捗状況と、新年度から新たに修繕に着手する橋梁について伺う。

##### ▶答弁

点検の診断結果が「Ⅲ判定」となり、現在、修繕を進めている橋梁は3橋で、折本一丁目付近の「下恋路橋(椹野川)」と下小鯖の「面坊橋(問田川)」、中央郵便局付近の「えびす橋(一の坂川)」である。「下恋路橋」と「えびす



橋」については、令和6年度に完成する予定で、「面坊橋」については、令和7年度に完成する予定である。令和6年度から修繕に着手する橋梁は、宮野小学校近くの「初音橋」と、大内の「光円寺橋」、「神田橋」の3橋で、「初音橋」については昭和35年建設、「光円寺橋」と「神田橋」については昭和58年に建設されており、定期点検の結果、老朽化による損傷がみられることから、来年度より、複数年の工事となる見込みである。



光円寺橋

##### ▶質問

「下市橋」については、幅員が狭く危ない状況で、歩道橋を整備すべきと考えるが、具体的にどのような交通安全対策が考えられるか伺う。



下市橋



道路びょう



イメージハンブ

##### ▶答弁

現在、路側帯を片側に設けてグリーン化しているが、車道との境に道路びょうの設置や、車道内にイメージハンブを設置、さらにドライバーに対する注意喚起の看板設置をすることなどについて検討する。

##### ▶議会での主張

災害時において、橋梁の被災は交通網を麻痺させる。橋梁の定期点検、不具合のある箇所の早急な修繕により、健全性を保つことが重要と考える。

### 自分に置き換えて被災者に寄り添う気持ちを!

今年、年初に最大震度7の能登半島地震が発生しました。発生から3カ月が経過し、現地では、被災に遭われた皆様をはじめ、全国の自治体やボランティアの皆様による懸命な復旧作業が続いています。1日も早い復旧・復興を祈るばかりです。震災では多くの家屋倒壊と併せて、道路をはじめとした各種インフラにおいても甚大な被害が生じました。私たちは被災地、被災された住民の皆様を自分に置き換えて、山口でのこれからの対策を考えていく必要性を感じます。

## 映画・ドラマのロケ地の誘致について

### ▶質問

山口市フィルムコミッションについて、さらに組織を強化して、映画・ドラマのロケ地の誘致を進めることで、本市の魅力を効果的に発信し、シティセールスにもつなげ、観光誘客を図るべきと考えるが市の考えを伺う。

### ▶答弁

俳優の水嶋ヒロさんと剛力彩芽さんが出演された2014年公開の映画「黒執事」は山口県政資料館でも撮影されており、大正時代初期に建設された歴史的建造物がしっかりと保存、活用されている。映画・ドラマのロケ地の誘致は本市の魅力を効果的に発信できる可能性を有し、シティセールスの観点からも大きな成果が期待できることから、山口市フィルムコミッションの取組をさらに強化し、誘致活動を展開する。



山口県政資料館

### ▶議会での主張

ニューヨーク・タイムズ紙の2024年に行くべき52ヶ所の3番目に本市が選出された今こそ、映画やドラマの業界が本市のありのままの魅力を引き出してくると期待している。

## 中小企業の省人化、省力化につながる機器等の導入について

### ▶質問

山口商工会議所や中小企業からの要望がある、人手不足対策の具体的な取組内容について伺う。

### ▶答弁

市内中小企業の既存の業務を代行し、労働時間の短縮が図られる機器等導入の費用に対し、補助率2分の1以内、補助上限額50万円を想定している。対象機器については、国の動向も見極めながら市内事業者の要望に応じた支援となるよう検討する。

### ▶議会での主張

中小企業等の支援に関わる関係機関や商工団体等との連携を図り、効果ある支援策となるよう要望する。

## 放課後児童クラブ 大内臨時学級の開設について

### ▶質問

令和6年度当初予算では、放課後児童クラブの待機児童の解消に向けたメ

取組として、240人の定員拡大が掲げられているが、大内臨時学級開設の概要について伺う。

### ▶答弁

令和5年4月1日時点の待機児童は市内全域で215人、そのうち大内小学校区と大内南小学校区を合わせた待機児童は71人であった。市内の中でも特に多くの待機児童が発生していることから、民間の施設を活用しての開設を予定している。社会保険事務所として使用されていた民間の建物で、施設規模をいかして定員120人での開設を予定している。

### ▶議会での主張

将来的には、児童数の減少が見込まれることから、新たな施設の整備ではなく、公共施設や民間施設を活用し、民間事業者のノウハウを積極的に導入する放課後児童クラブの開設を進めるべきである。

## 山口市中央消防署整備 基本計画について

### ▶質問

新しい中央消防署庁舎に現在の庁舎にない、新たにどのような機能を追加して整備するのか伺う。

### ▶答弁

災害対応における新たな機能としては、24時間体制で勤務する職員の感染防止や、プライバシーを考慮した個室型の仮眠室、車庫まで直接出場できる専用階段、防火服等の装備を装着しながら、災害情報等の共有が可能な出場準備室等、働きやすい執務環境を実現する。また、防災教育機能として訓練施設としても併用できる見学スペースや体験施設等の整備を実施する。

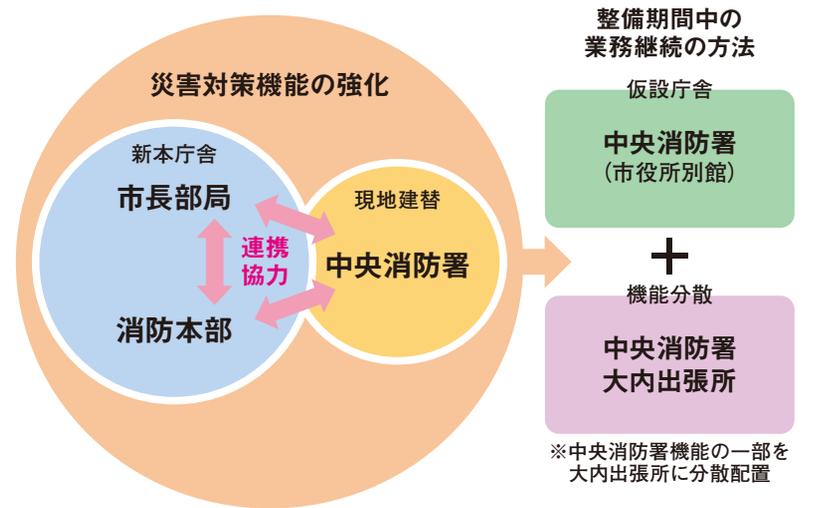
### ▶質問

整備工事期間中の体制確保について伺う。

### ▶答弁

現在、市役所別館にある教育委員会事務局等の新本庁舎への集約後に、空いた市役所別館を中央消防署の仮設庁舎とする。同時に、中央消防署に配置している特別救助隊の一部機能を大内出張所に分散配置し、工事期間中の出場体制と訓練環境の確保に努める。

### 〈施設連携イメージ〉



出典：山口市中央消防署整備基本計画

### ▶議会での主張

現場の意見を尊重して、執務しやすい環境づくりに努め、本市の防災体制の強化につながることを期待する。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

